

新市の将来像

各務原市、川島町が合併してできる新市の将来像は――

元気な大交流都市

―公園都市・共生都市・快適産業都市へ―

過去の歴史と木曾川と中山道が運んだ 人・モノ・文化… そして、現在の両市町の個性
そこで、未来への発展のキーワードを「交流」としました。



公園都市

自然と都市機能を調和させることにより、生活の場・仕事の場である都市に、自由時間を楽しむ場や“癒し空間”を提供する、日本初のパークシティをめざします。



共生都市

世代間、障害のある人とない人、市街地と田園地帯、森や川と都市、歴史と未来、伝統と先端技術、モノと文化・芸術など、あらゆるものが共生する豊かな都市をめざします。



快適産業都市

快適とは生活を、産業は活力を意味します。市民が快適に生活できるとともに、新たな情報・技術や英知の結集を活かした付加価値の創造により、地域産業が発展しつつ、活力ある新規産業が生まれる都市をめざします。

将来の都市構造

地域の自然・歴史・文化・産業・交通等の要因を踏まえ、**回廊**と**拠点**から構成される新市の将来都市構造を次のように定め、まちづくりを計画的に進めていきます。

◆森の回廊

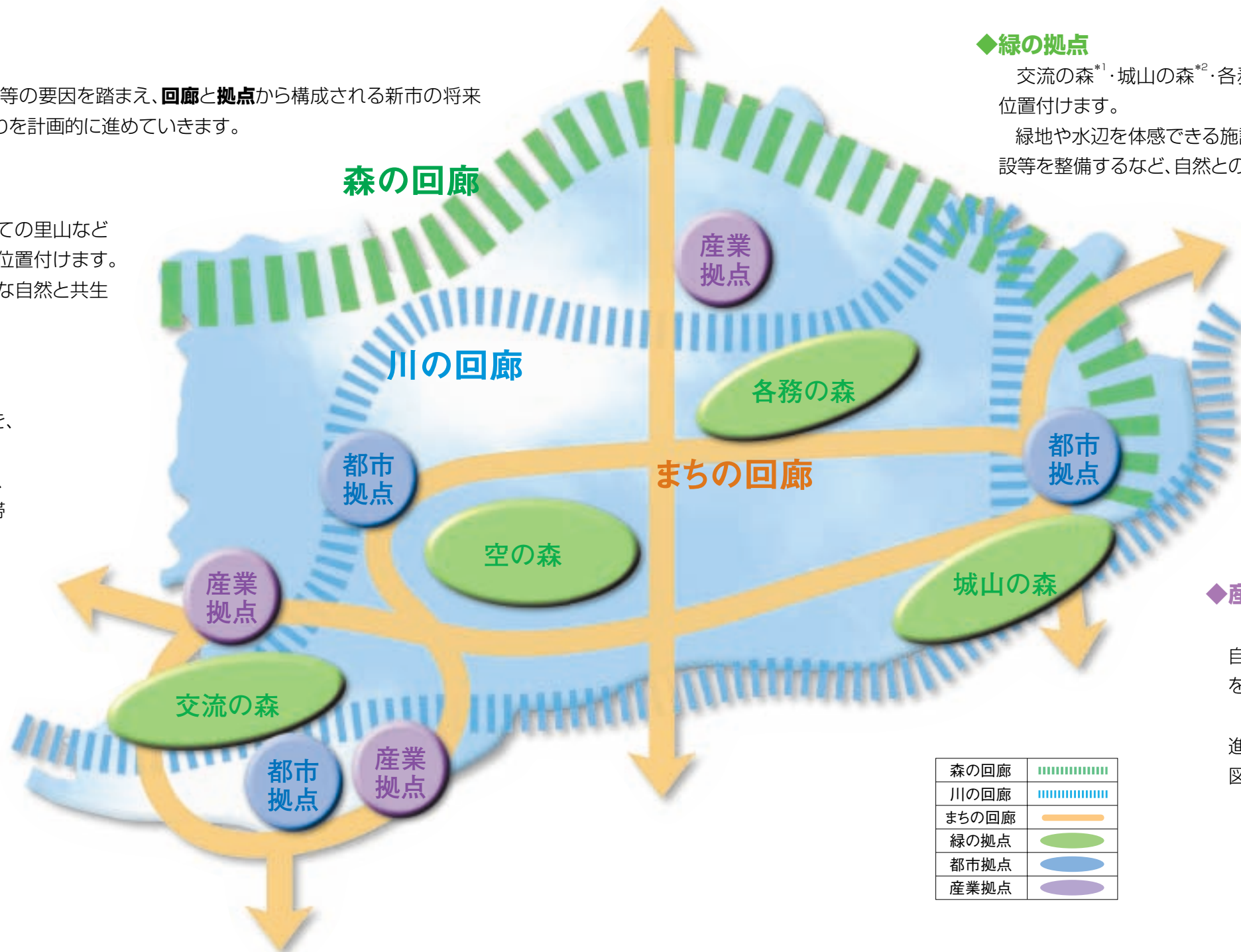
圏域の北側に広がる水源林としての里山などの自然資源を、「森の回廊」として位置付けます。緑のネットワーク化を図り、豊かな自然と共生した都市を創出していきます。

◆川の回廊

木曾川や新境川・大安寺川等の水辺空間を、「川の回廊」として位置付けます。新市の水循環の核としての保全とともに、親水性の確保を基本とし、豊かな水と緑の帯を作り出していきます。

◆まちの回廊

商業・公共施設などの都市機能が集積する国道21号、JR高山本線、名鉄各務原線、東海北陸自動車道・岐阜各務原IC、川島地区を、東西方向に“8の字”状にネットワーク化します。これらと、産業関連機能が集積している南北交通軸を合わせ、「まちの回廊」と位置付けます。



森の回廊	
川の回廊	
まちの回廊	—
緑の拠点	●
都市拠点	●
産業拠点	●

◆緑の拠点

交流の森^{*1}・城山の森^{*2}・各務の森・空の森^{*3}を「緑の拠点」として位置付けます。

緑地や水辺を体感できる施設や、広域的な観光レクリエーション施設等を整備するなど、自然との共生・ふれあいの場を創出します。

- *1 河川環境楽園・勤労青少年運動場周辺
- *2 伊木山・城山周辺
- *3 航空自衛隊岐阜基地周辺

◆都市拠点

まちの回廊に沿って、いくつかの「都市拠点」を設けます。地域固有の文化を大切にし、生活・文化・交流・医療・産業など各種都市機能の集積を図り、快適で魅力ある市街地の形成をめざします。

◆産業拠点

テクノプラザ周辺、東海北陸自動車道・岐阜各務原IC周辺等を「産業拠点」と位置付けます。産業基盤の整備を計画的に進め、新規産業の育成・誘致を図っていきます。